

ねんど  
2014年度

だい かい ぜんこく やかんちゅうがくこうけんきゅうたいかい ほうこく  
第60回 全国夜間中学校研究大会 報告

1 日 目 : 1 1 月 2 7 日 (木)

ほうこく ① ぜんたいかい A きねんこうえん (くどう いけした)  
報告 ① 全体会 A 記念講演 (工藤・池下)

かいがいぎょうじ かい けいかく ほうこく しゅだい やかんちゅうがくこう じつたい  
開会行事と会の計画と報告さらに主題「夜間中学校の実態から

きょういく かだい あき ぎむきょういくみしゅうりょうしゃ じんけん まな  
教育の課題を明らかにし、義務教育未修了者の人権としての学ぶ

けんり ほしょう かくにん つぎ とうきょうだいがくだいがくいん  
権利を保障しよう」が確認されました。次に東京大学大学院のイジョ

ンヨンさんによる「韓国を中心とした世界の基礎教育の現状」につい

ての講演がありました。

えいぞう かたみち じかん いのち とうこう せかい こ  
まず映像として片道2時間かけて命がけで登校する世界の子どもたち

しょうかい  
が紹介され、さらにドイツ・スウェーデン・フランス・アメリカなどの基礎

きょういくほう ほう よみか りよく じゅうじつ しょうかい  
教育法やリテラシー法(読書き力)の充実ぶりが紹介されました。

かんこく にほん しょくみんちじだい ご ちょうせんせんそう ねんとうけい  
韓国は、日本の植民地時代とその後の朝鮮戦争のため、2010年統計

ちょうほうこく さいいじょうじんこう あ やく まんにん ぎむきょういく  
序報告で20才以上人口の15.7%に当たる約577万人が義務教育

みしゅうりょう ねんこくりつこくごいんほうこく ぜんじんこう あ やく  
未修了であり、2008年国立国語院報告で全人口の7%に当たる約260

まんにん こうれい じょせい おお よみか もんだい  
万人（高齢の女性が多い）が読書に問題をかかえています。

かずおお みんかん きょうしつ ひら にほん やかん  
このため数多くの民間の教室が開かれていましたが、日本の夜間

ちゅうがく さんこう きょうぎかい せつりつ く に しえん  
中学をも参考に協議会が設立され、さらに国が支援にのりだして

ほうせい化 がはかられ、 にほん をこえる せいさく じつげん かんこく しきじ  
法制化がはかられ、日本をこえる政策が実現しました。韓国では識字

きょういく  
教育のことを「文解（ムネ）」教育と言っており、字を覚えるだけ

でなく、ほん つか し ぶんか せかい じぶん かわ  
でなく、本を使って知らなかった文化や世界にふれることで、自分が変

っていくことを意味しています。

ねん がつ しょうがいきょういくほう ぜんめんかいせい ムネ しきじ きそ きょう  
2007年12月、生涯教育法の全面改正の中で文解（識字・基礎）教

いく しえんじょうこう しんせつ く に ちほうじちたい ぎょうせいてきざいせいてきしえん がく  
育の支援条項が新設され、国と地方自治体の行政的財政的支援と学

れきにんてい さだ ねん がつげんざい きそじちたい せい  
歴認定が定められました。また2014年10月現在、19の基礎自治体で成

じん きょういくしえんじょうれい せいてい しょうちゅうがっこう けいろどう  
人文解（ムネ）教育支援条例が制定され、小中学校・敬老堂

こうれいしゃ あつ ば しゃかいふくしかん しょうがいがくしゅうかん じゅうみんじち  
（高齢者の集まる場）・社会福祉館・生涯学習館・住民自治セン

ター・公 共 図 書 館 ・ 家 族 支 援 セ ン タ ー ・ 教 会 など で 数 多 くの 教 室 が 開

かれていて、かんみん と く きょうしつ よみか  
かれていて、官民あげて取り組んでいるそうです。教室では読書きだけで

はなく、うんどうかい えんそく ぎょうじ しんたいけんさ きょうし  
はなく、運動会や遠足などの行事や身体検査もあり、また教師の

ようせい にんていきかん がくれきしかくにんてい てつづ さだ えいぞう  
養成・認定機関や学歴資格認定の手続きも定められています。映像での

せいと こえ とし なん ひと まえ  
生徒さんの声：「この年になって、何でわざわざ…。そういう人にはあたり前

のことが夢なんです。学びは年寄りの私に夢を与えてくれます」

名古屋大学の小川利夫氏による「福祉は教育の母胎であり、教育は福

祉の結晶である」という言葉を引用し、互いにやっついていかないと完成で

きないという印象深いお話しで講演が終わりました。

## 報告 ② 全体会 B-1 生徒体験発表 (池下)

### (1) 木下 俊さん (大阪・守口第三中学)

自分が5歳のとき父親が戦争から帰ってきた。その時が父親との

初対面であった。妹も生まれ家族で暮らしていたが長くは続かなかった

(暴力、酒)。2年生のときに離婚。妹と母と暮らしていたが、ある日

父親が「男の子だから」と言って母親から離され、父と暮らした。父は

再婚しており、異母兄弟ができた。4～5年生の頃から父は働かず

(暴力、酒)、「義母に馴染まない」と言っては暴力を振るわれていた。

6年生までに7回転校した。貧しく学校の給食だけが食事のようなも

のであった。学級費も給食費も払ってもらえなかった。学級費のこと

を言うと叱られた。中学校に入学したが、給食のないのが辛かつ

た。新聞配達の仕事を知り、父に「新聞配達をやりたい」と言うと「俺へ

のあてつけか」と怒られたが、父は「俺がやらせるんじゃない。お前がやる

い だ  
と言い出したんだ。」と言った。

しんぶんはいたつ がっこう い たの きゅうりょう がつきゅうひ  
新聞配達で「学校に行ける」のが楽しみだった。給料でまず学級費

はら た た のこ せいかつひ すこ かんが  
払って、食べてみたい・・・食べて？残ったら生活費に少しでも・・・と考

えていた。きゅうりょうび ひ はや はいたつ お かえ ぎぼ  
えていた。給料日の日はいつもより早く配達を終わらせて帰ると、義母が

さき きゅうりょう う と よる ちち しか ころ  
先に給料を受け取ってしまっていた。その夜また父に叱られた。その頃

からだれ しん し かんが じつぼ いもうと  
から誰も信じられなくなり、死を考えるようになったけれど、実母と妹に

あ いっしん がっこう い ひちち がっこう い  
会いたい一心で・・・。学校には行かず。ある日父に「学校に行かないな

で い い いえ で じつぼ あ おも はたら  
ら出て行け」といわれ、「家から出られる。実母にも会える！」と思った。働

いてはたら はは あ さいこん かえ な  
いて働いて・・・。母に会ったけれど再婚していて、帰るところが無くな

ってしまった。しょうがつ いちばんさび じぶん ほんざい こま  
ってしまった。正月が一番寂しかった。「自分の存在がみんなを困らせ

る。とお い だれ し ところ おおさか き さい ちい  
る。遠くに行こう。誰も知らない所に」と大阪に来ました。30歳で小さ

なこうじょう も いま まご かこ く さい  
な工場を持ちました。今は孫に囲まれて暮らしています。60歳のとき、

ちちおや な おじ れんらく き まよ そうぎ で おじ  
父親が亡くなったと叔父から連絡が来ました。迷ったけれど葬儀に出て叔父

いえ と おじ ちち こと き じつ だっそうへい にん うで  
の家泊まり、叔父から父の事を聞きました。実は脱走兵だった。6人で腕

いれずみ だっそう しゅうせん かいほう もど こと  
に刺青をし脱走したがつかまって、終戦で解放され戻ったとの事。

いれずみ ははおや なまえ い こと い の よ  
刺青には母親の名前も入れていた事。そう言えば飲んで酔ったときに「この

うで き と い ちち あ よう  
腕を切り取りたい」と言っていたのはそのことだったのか。父の荒れ様は

だっそうへい おも ひ ちち せんそう ぎせいしゃ  
「脱走兵」という思いを引きずってのことだったのか。父も戦争の犠牲者

ではなかったか。「<sup>いま</sup>、<sup>せいぜん</sup>生前の<sup>ちち</sup>父に<sup>あ</sup>逢いたい！」。

(2) <sup>おきもと</sup>沖本 <sup>きくよ</sup>菊代さん ( <sup>ひろしま</sup>広島・<sup>かんおんちゅうがく</sup>観音中学 ) <sup>ねんらいにち</sup>2007年来日 <sup>けっこん</sup>結婚

<sup>せんせいがた</sup>先生方と<sup>しゅじん</sup>主人への<sup>かんしゃ</sup>感謝～

<sup>せんせいがた</sup>先生方の<sup>はげ</sup>励ましと<sup>おうえん</sup>応援のおかげで<sup>いま</sup>今、この<sup>まえ</sup>前に<sup>た</sup>立っています。<sup>ねん</sup>2011年  
から<sup>やかんちゅうがくこう</sup>夜間中学校で<sup>べんきょう</sup>勉強しています。<sup>はたら</sup>働くのと<sup>まいにち</sup>毎日の<sup>べんきょう</sup>勉強で、  
<sup>せいかつ</sup>生活はと<sup>いそが</sup>とても忙しいです。どの<sup>じゅぎょう</sup>授業もと<sup>たの</sup>とても楽しいです。<sup>ぎじゅつ</sup>技術で<sup>もの</sup>物を  
<sup>つく</sup>作るのも<sup>たの</sup>楽しかったです。<sup>せんせいがた</sup>先生方はと<sup>しんせつ</sup>とても親切です。<sup>わたし</sup>私は<sup>ちやわんむ</sup>茶碗蒸しが  
<sup>だいす</sup>大好きで、いつも<sup>しゅじん</sup>主人の<sup>ぶん</sup>分と<sup>つく</sup>2つ作ります。けれど<sup>ちやわんむ</sup>茶碗蒸しを<sup>つく</sup>作るのは<sup>む</sup>む  
ずかしくて、いつも<sup>でき</sup>もうまく出来ませんでした。そのことを<sup>せんせい</sup>先生に<sup>はな</sup>話すと、<sup>かてい</sup>家庭  
<sup>か</sup>科の<sup>ちょうりじっしゅう</sup>調理実習で「<sup>しっぱい</sup>失敗しない<sup>ちやわんむ</sup>茶碗蒸しの<sup>つく</sup>作り方」を<sup>かた</sup>してくれました。<sup>えい</sup>英  
<sup>ご</sup>語の<sup>ひっきたい</sup>筆記体を書くのは<sup>か</sup>おもしろいです。<sup>りか</sup>理科は<sup>ほし</sup>星の<sup>たいふう</sup>ことや<sup>むし</sup>台風、<sup>しょくぶつ</sup>虫、<sup>しょくぶつ</sup>植物  
<sup>ことなど</sup>の事等と<sup>しょくぶつ</sup>とてもおもしろいです。<sup>しょくぶつ</sup>植物は<sup>かていさいえん</sup>家庭菜園を<sup>やくだ</sup>するのに<sup>やくだ</sup>役立ちました。  
<sup>にほんご</sup>日本語は<sup>ねば</sup>粘り<sup>づよ</sup>強く<sup>おし</sup>教えてくれるので<sup>たす</sup>助かりますが、<sup>はつおん</sup>発音が<sup>むずか</sup>難しいです。  
<sup>かんじ</sup>漢字は<sup>よ</sup>読みが<sup>たど</sup>たくさんあります。例えば「中」は「<sup>なか</sup>なか・<sup>ちゅう</sup>ちゅう・<sup>ちゅう</sup>ちゅう」と  
いう<sup>よう</sup>様<sup>よう</sup>にです。

<sup>しんぶん</sup>新聞は<sup>はんぶんよ</sup>半分読めるようになりました。<sup>はや</sup>早く、<sup>はな</sup>たくさん<sup>あ</sup>話し合えるよう  
になりたいです。<sup>がっこう</sup>学校の<sup>じゅぎょう</sup>授業だけでなく<sup>ぎょうじ</sup>行事も<sup>たの</sup>楽しみです。<sup>なか</sup>中でも<sup>しゅうがく</sup>修学

りょこう おもしろ しゅじん ぜんりょう ひと ちゅうごく わたし むすめ  
旅行は面白かったです。主人は善良な人です。中国から私の娘を

よ よ ワイエムシーエー にゅうがく ちゅうごく わたし ははおや  
呼び寄せ、YMCAに入学させてくれました。中国の私の母親は、

おっと にほんじん しんぱい がつ き しゅじん あ あん  
夫が日本人なので、とても心配していましたが、5月に来て主人に会い「安

しん い わたし しゅじん あ じんせい はじ  
心した」と言ってくれました。私は主人に会って人生が始まりました。(や

なお  
り直している?)

### (3) セルバンテス・ラニーさん (東京・糀谷中学)

げんざい さい ねんまえ にほん くに  
現在は29歳で、10年前にダンサー、タレントとして日本にきました。国

はフィリピンの田舎です。両親は5人の子どもを育てるために働きました

いえ まず わたし べんきょう きょうだい めんどう  
が家はとても貧しかった。私は勉強したかったけれど弟妹の面倒を

みなければならなかったので、できませんでした。17歳の時、一人でマニラに

しごと さが い う ごうかく はんとしかん  
仕事を探しに行き、そこでオーディションを受け合格し、半年間のダンサー

一として日本にきました。半年ダンサーとして働いていたとき日本人男性

けっこん にほんご でき あき じ じ じ  
と結婚しました。日本語が出来ないので、・・・朝8時から17時、17時から0時

まで働きました。フィリピンの弟妹を学校にやるためと、両親と

りょうじん いりょうひ しおく せいかつ しごと わる  
両親の医療費のため仕送りしました。生活と仕事のバランスは悪かったで

す。わけあって7年間で離婚しました、大好きな夫と。一人になると日本語

ひつよう やかんちゅうがく どうりょう き いま ねんせい  
が必要になりました。夜間中学のことは同僚に聞きました。今2年生で

す。1年生のときはみんなのお陰で楽しくできました。歴史、美術、数学、

たいいく べんきょう ぎょうじ とお なかま ふ  
体育・・・。勉強だけではなく行事を通して、仲間がどんどん増えてき  
ました。いま ふくかいちょう けいけん げんざい かいご しかく と つづ  
きたいと思っています。にゅうがく にほん りかい  
自信もついてきました。ねんれいとうかんけい べんきょう ところ こうじやちゅう だい  
二の故郷です。まだ知らない人には教えてあげたいです。

ほうこく ぜんたいかい とくべつほうこく もりた  
報告 ③ 全体会 B-2 特別報告 (森田)

ぜんやちゅうけん しゅうねんきねんじぎょう しりょうほぞん ちゅうかんほうこく  
(1) 「全夜中研60周年記念事業(資料保存)の中間報告」

あさの しんいち こうべだいがく えぐち さとし とうきょうだいがく  
浅野 慎一(神戸大学)・江口 玲(東京大学)

しりょうほぞん いぎ しりょう れつか たいおう やかんちゅうがく せんごきょういく は  
資料保存の意義は、資料の劣化への対応、夜間中学の戦後教育に果  
たした役割の再評価、未来展望を視野に入れた歴史的転換期の位置づけ、  
じょうほうこうかい とく じぎょう でんしばいたい  
情報公開などがあります。取り組むべき事業としては、電子媒体による  
ほぞん こうかい しりょうもくろく ディービーディーかとう しんちよく  
保存・公開、資料目録のD V D化等があげられます。また、進捗  
じょうきょう たいかいしりょう みかくにん みにゅうしゅ かくほ たと だい きたいかい  
状況は大会資料で未確認・未入手のものの確保(例えば、第3回大会  
しりょう たいかいいがい しりょう かくほ すず しりょう ていきょう  
資料)や大会以外の資料の確保が進んでおりません。資料の提供  
ねが  
をお願いします。

かながわ やかんちゅうがく げんじょう かだい  
(2) 「神奈川の夜間中学の現状と課題」

とうきょう あだちよんちゅう すだ とみお  
東京・足立四中 須田 登美雄

○ よこはましりつちゅうがくやかんがつきゅう どうはいごう ほうこく  
横浜市立 中学夜間学級の統廃合についての報告

ぜんやちゅうけん どうはいごう みなお おこな  
全夜中研のアピールにもかかわらず、統廃合の見直しは行われなかった。

けっか せんこく やかんちゅうがく こう こう  
(その結果、全国の夜間中学は35校から31校になりました。)

○ かわさきにしなかはらちゅう せいかに せいとすう ふ  
川崎西中原中はビラまきの成果があり、生徒数が増えて

げんじょう きょういん かくほ  
現状の教員を確保できました。

○ あたら せんじん きょういん はいち まいたちゅう がつ  
新しく専任の教員を配置した蒔田中は4月からスタートし、

せいとすう どうしよ めい めい ふ  
生徒数が当初の12名から20名に増えました。

○ かながわざいじゅう かた どうきょう つうがく じったい  
神奈川県在住の方がわざわざ東京に通学している実態があ

なか どうきょう か つうがく かた  
り、中には東京にアパートを借りて通学している方もいます。

つうがくせい おお とき めい  
(通学生は多い時で10名になった)

かながわ う い おも けんぎかい  
神奈川県で受け入れをしなければならないと思っています。県議会

ようぼう  
にも要望しています。

(3) ぎむきょういくとうがくしゅうきかいじゅうじつほう ほうせいかに む  
「義務教育等学習機会充実法」法制化に向けて

おおさか たいへいじちゅう くらかわ ゆうこ  
(大阪・大平寺中) 黒川 優子

さき もんぶかがくしゅう ようぼう こうもく もんかしょう かいとう  
先に文部科学省へ要望した項目につき、文科省から回答があったこ

ほうこく もんかしょうがわ こばやしまり こしよとうちゅうとうきょういく  
とが報告されました。文科省側からは小林万里子初等中等教育

きかくか きょういくせいどかいかくしつちょう めい さんれつ  
企画課・教育制度改革室長をはじめ9名のかたが参列しました。

もんかしょう だいひょう こばやししつちょう かくこうもく かいどう  
文科省を代表し、小林室長から各項目について回答がありました。

かいぎび ねん がつ  
(会議日：2014年7月31日)

(1) にほんべんごしれんごうかい いけんしよ  
日本弁護士連合会の意見書について

こくれん しきじそくしん ぐたいてき しさく おこな ようぼう  
国連の識字促進をうけ、具体的な施策を行うことを要望され  
ていますが、げんざい わくに ひしきじしゃ かず はあく  
現在、我が国の非識字者の数は把握しておりません  
が、やかんちゅうがく は やくわり じゅうぶんりかい  
夜間中学の果たしている役割については充分理解してい  
る。こんご やかんちゅうがく じったい はあく てきかく しえん おこな  
今後、夜間中学の実態を把握し、的確な支援を行ってい  
く。また、ぎむきょういくみしゅうりょうしゃ まな ささ  
義務教育未修了者の学びも支えていきたい。

(2) ぎむきょういくふしゅうがくすう  
義務教育不就学数について

こっかい そうむしよ とうべん かず くに  
国会における総務省の答弁にありますように、その数を国の  
せきにな あき  
責任で明らかにしていきます。

(3) ぎむきょういく かんぜんほしよ  
義務教育の完全保障について

こうれいしゃ きょういくきかい ほしよ じつじょう くに じち  
高齢者の教育機会の保障をすすめ、実情にあわせ国・自治  
たい たいおう  
体が対応していきます。

(4) かくとどうふけん やかんちゅうがく せっち  
各都道府県での夜間中学の設置について

せいれいし こういじょう せっち ようぼう じったい  
政令市に1校以上の設置を要望されていますが、実態をふまえ、  
じちたい ざいせいしえん  
自治体への財政支援をしていきたい。

(5) やかんちゅうがくない きそがっきゅう せっち  
夜間中学内の基礎学級の設置について

じったいちょうさ たいおう やかんちゅうがく そんざい  
実態調査をまって、対応していきたい。また、夜間中学の存在

しゅうち  
を周知していきたい。

(6) ちゅうがっこうけいしきそつぎょうしゃ きょういくきかい  
中学校形式卒業者の教育機会について

きぼう もの きょういくきかい もう  
希望する者について、教育機会を設けたい。

(7) よさん  
予算について

きょういくじょうけんせいびおよ しゅうがくしえん よさん けいじょう  
教育条件整備及び就学支援について予算を計上していき  
たい。

ご ここ こうもく しつぎ  
その後、個々の項目についての、質疑がありました。

ほうこく ④ すべての人に義務教育を！拡大専門委員会

くどう  
(工藤)

(1) じしゅやかんちゅうがく ほうこく ① せんだいじしゅやかんちゅうがくかいこう  
自主夜間中学の報告～ ① 仙台自主夜間中学開講

かみ まい えんぴつ ぼんも よ  
“だれでもいつでも紙1枚と鉛筆1本持っておいでください”を呼びかけ

ぶん がつ せんだい やかんちゅうがく そだ かい なかざわ  
文に、11月より「仙台に夜間中学をつくり育てる会」の中澤さんを

れんらくさき かいこう ぼしゅう にゅうがくきん じゅぎょうりょう ふよう  
連絡先として開講。募集チラシには、「入学金・授業料は不要で

す」・「いつでも入学できます」・「中学卒業の資格は取得できませんの

で、ご了承願います」などが書かれている。二部制をとり、夜間部は毎月

だい すいようびごご じ じはん ちゅうかんばん まいつきだい かようび ごご じ  
第1・3水曜日午後6時～8時半まで、昼間部は毎月第1・3火曜日に午後2時～

じはん がつ にちげんざい せいと めい だい めい  
4時半となっている。11月21日現在、生徒10名(20～80代)、スタッフ24名

(20~80代)。札幌遠友塾の元スタッフ伊藤穂波さん（英語）も参加して

いる。遠友塾の運営資料を参考としてお送りしている。

## (2) 自主夜間中学の報告～ ② 札幌からの発言

9月20日に函館で開かれた全道自主夜間中学交流会（120名

参加）の成功を述べ、北海道議会（10月3日）と札幌市議会（11月6日）

において、国に対する「国勢調査の教育項目改善」に関する意見書

が全会一致で採択されたことを報告した。

また初めて札幌遠友塾と道教委義務教育課・札幌市教委学校

教育部合同の話し合いがなされ、公立夜間中学が設置された場合の

入学生徒人数の見通しや、分かりやすい授業のあり方などの経験の

問い合わせがあった。また札幌市以外に在住する人や形式卒業生

の入学・就学援助についても要望し、さらに遠友塾卒業生の

学歴取得の検討もお願いした。

次に、11月20日苫小牧市教育委員会が戦争や病気などで学校に通

えなかった市民8名（70~87歳）に12月18日までの5日間、「苫小牧市民塾

ナナカマド教室」を開講したことを報告。自主夜間中学以外で、道内

自治体としては初めての取り組みになる。

また「札幌遠友塾」と「北海道に夜間中学をつくる会」連名で、

議員連盟に所属する国会議員と文部科学省と総務省に視察を

要請する文と資料を送付したことも述べた。

北九州・埼玉・函館などからも現状の報告がありました。

### (3) フリースクールとの関係・形式卒業生の入学について

全国大会史上、初めて上記のことについて本格的な討論がなされた。

きっかけは議員連盟の馳会長がフリースクールの議員連盟の会長も兼

ねていること、11月24日に初めて文部科学省で開催された「全国フリー

スクールフォーラム」で下村大臣が“今日がキックオフだ”と挨拶し、不登

校等になったとしても、多様な子どもの能力を生かせるように、チャンス

を提供する教育のあり方を検討する必要性に言及しているからで

ある。夜間中学だけではなく、フリースクールや形式卒業生への対策も

含めて、行政サポートの元で、多様な学びの保障を目指していることが

伺える。全国夜間中学校研究会として、どのように考え実践し

ていくかの議論は、始まったばかりである。

札幌からは、「北海道に夜間中学をつくる会」の毎年の運動方針の

なかで、フリースクールや福祉施設との連携と交流を掲げ、今までフリー

スクールから遠友塾えんゆうじゅくに来て元気きげんきになった若者わかもののことや、フリースクールと  
の交流こうりゅうの経緯けいゐを述べた。

また自主夜間中じしゅやかんちゅうがく学である遠友塾えんゆうじゅくでは、形式卒業生けいしきそつぎょうせいの入学にゅうがくは全  
く問題もんだいがないが、公立夜間中こうりつやかんちゅうがく学の場合ばあいには、今までいま、二重学籍にじゅうがくせきをさけ  
る意味いみから入学にゅうがくが認められていなかった。こうした人たちの学びひとの保障まなほしょう  
も検討けんとうされるようになりつつある。

ただ神戸大学こうべだいがくの浅野先生あさのせんせいが、今までは学校がっこうに行かなくても卒業そつぎょうを認  
めていたのに対し、卒業そつぎょうを認めずみとに夜間中やかんちゅうがく学いに行きなさいという強きょうせい制  
になるのではという危険性きけんせいを指摘してきしていた。どんな時代じだいにも形式卒業けいしきそつぎょうが  
おこってくるという、ある意味いみでの自由性じゆうせいを確保かくほし、夜間中やかんちゅうがく学かくを隠れ蓑みのに  
した新たな棄民あらきみんを防ふせぐという意見いけんである。